

## 研修理念

臨床研修は、医師が、医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けることのできるものでなければならない。

### 第4章 到達目標の解説（抜粋）

#### 【3 問題対応能力】

1) 臨床上の疑問点を解決するための情報を収集して評価し、当該患者への適応を判断できる(EBM=Evidence-based Medicine の実践ができる)

現場から課題を作成し整理する能力

(略)

問題解決に必要な情報収集・整理運用能力

a: 課題の解決に必要な情報や要員を列挙し、足りないものを集めることができる。

(略)

b: 臨床研究や治験の意義を理解し、その結果を批判的に吟味し、問題解決に活かすことができる

ポイント:

臨床研究結果を課題解決に活かす手法は、その研修医がどのような専門を選ぶにせよ基本的な技能となる。細かな統計学的手法を知るよりも、妥当性を見極めるためのチェックポイントを活用し、要領よく価値の低い情報をふるい落とし、価値ある情報の妥当性と適用性、定量的な結果をくみ取って、課題解決に活かすために情報をまとめる作業に焦点を当てる。

(略)

2) 自己評価及び第三者による評価を踏まえた問題対応能力の改善ができる

(略)

3) 臨床研究や治験の意義を理解し、研究や学会活動に関心を持つ